



ーどうする時数・どうする日課表…，先行実施（移行措置）に向けてー

さっそくですが，先日「え～っ，きてないよ～！」という情報が入りましたので，皆さんにもお伝えします。
以下の資料をまずはご覧ください。

これは，つい先日読売新聞に掲載された記事です。

研修仲間からの情報を受け，ネットで確認したところです。正式な通知等はまだまだと思いますので，この後の情報を待ちたいと思いますが，内容がこの通りになるのであれば，各校とも検討の方向性に影響を与えそうです。

外国語活動・外国語だけではなく，総合的な学習の時間も巻き込んで，いっそう教育課程全体を考慮しなければならなくなりそうです。

それにしても，“総合との綱引き”は決着がついたと思っていたのですが，ここにきてこういう形になるとは予想していませんでした。

また，以前紹介した「今年度を含めた，5・6年生外国語／3・4年生外国語活動の移行イメージ図」ですが，少し修正が必要なようです。私は当初，今年度の4・5年生は次年度5・6年生になった時には現行の35時間で実施と考えておりましたが，今回の情報等も含めると，移行措置期間に5・6年生はやはり最大70時間の先行実施が可能との押さえになりそうです。この部分は，きちんと押さえないといけないと思いますので，改めて資料等を整理し直したうえでまたお伝えしたいと思います。

小学英語、「総合学習」枠で…時間割に余裕なく

2017年05月25日 06時00分

2020年度に実施される次期学習指導要領で小学校の英語が教科になることに伴い，文部科学省は18年度から2年間の移行期間と定め，授業時間確保のため，「総合的な学習の時間（総合学習）」の一部を「英語」に振り替える措置を容認することに決めた。

小学校の総合学習と外国語活動の年間授業時間数



今夏にも関係省令を改正する。教員の多忙化もあり，授業時間を増やせないと判断した。英語の教科化後についても，総合学習の見直しを検討する。

次期指導要領では，歌やゲームで英語に親しむ「外国語活動」を現行の5・6年から3・4年に引き下げ，5・6年は教科書を使い，成績評価も行う正式な教科にする。これに伴い，3・4年の授業時間は年35コマ（平均週1コマ，1コマは45分），5・6年は現行の2倍の年70コマに増える。

【読売新聞 YOMIURI ONLINE より】

どうする時数・どうする日課表

先行実施（移行措置）に向けて，検討が必要な事項をもう一度確認しておきます。

1. 5・6年生外国語と3・4年生外国語活動の実施時数
2. 実施時数分の年間指導計画
3. 時数確保の具体的な方法
4. 年間行事予定や日課表
- (5. 教育課程の調整？ 総合と外国語の時数バランス・・・場合によってはこういうことも)

これらの内容は，一つ一つ単独で解決していけるものではなく互に関連しているものなので，短時間で共通理解を図り検討・決定していけるものではないと思います。

さらに，上記報道のような新しい事柄が出てくれば，そうしたことにも影響を受ける可能性があります。

ひとまず，「現時点の条件下であれば，本校としてこう考える」という「たたき台」くらいは，そろそろ持っておいてもよいかもしれませんね。

このように，次年度に向けた情報は随時お伝えしていきます。正式な通知等がまだないものであっても，今回のようにひとまず出していきたいと思うので，すべてが最終確認・決定されたものでないことはご了承ください。